

南ア治安情報(西ケープ州以外)

【2022年10月～12月】

在南アフリカ共和国日本大使館

南アでは、犯罪者が銃やナイフを持っていることがあるため

万が一被害に遭いそうになった場合

抵抗はせず、命を最優先に守る行動をお願いします

以下、頻度の高い犯罪類型とその対策、最近の事案・傾向です。

1 強盗被害の増加(ヨハネスブルグCBD パークステーション周辺での首締め強盗)

当地を旅行中の邦人が、ヨハネスブルグCBD(Central Business Districtの略。市街中心地を指す。下記地図等ご参照)のパークステーション周辺において首を絞められる、羽交い締めにもされるなどされて所持品を奪われる強盗被害が2件発生しました。

- ① 10月22日(土)午前9時ころ、当地を旅行中の邦人2名が、ヨハネスブルグCBDのパークステーション(電車とバスの巨大ターミナル)周辺の路上(露天が多く出店しているエリア)を徒歩にて散策中、突然4人組の男に背後から襲われ、それぞれ首を絞められて1人は気絶、もう1人は意識朦朧の状態に陥らされている間に、所持品(旅券、スマートフォン、現金、ウエストポーチ等)を強奪されました。邦人1名は、首にむち打ちの症状を認めましたが、軽傷でした。
- ② 11月5日(土)午後1時ころ、当地を旅行中の邦人が、同じくパークステーション周辺にあるカールトンセンター(超高層ビル。商業施設等がある)付近を徒歩にて移動中、突然3～4人組の男に羽交い締めにもされて気絶し、その間に、所持品(鞆、旅券、カメラ、現金等)を強奪されました。邦人は、両手、首、頭部に打撲を認めましたが、軽傷でした。

【対策】

- (1) 旅行前に、訪問先の治安情報を十分に収集すること。
ヨハネスブルグ CBD、プレトリア CBD、ダーバン CBD など当地において、CBD と呼ばれる場所は治安が極めて悪い傾向が見られるため、みだりに立ち入らない。

- (2) 特に、ヨハネスブルグ CBD(地域の明確な区画はないものの、ネルソン・マンデラ橋、パークステーション、高等裁判所、カールトンセンター等が所在する広い地域)は、本件のような強盗(突然首を絞める、羽交い締めにする)のほか、銃器を使用した強盗、殺人等凶悪な犯罪が横行しており、また、Hillbrow、Berea など、同 CBD に隣接した周辺地域も凶悪犯罪が多く発生しているので、立入りは厳に慎む。
- (3) ヨハネスブルグ周辺における有名なタウンシップである、ソウェト、アレクサンドラも同様に不用意に立ち入らない。ソウェトには、ネルソン・マンデラ国立博物館等の観光場所があるが、犯罪やデモの多発地域である。博物館を訪れる際は、信頼できるツアー等に参加し、決して 1 人歩き、個人観光はしないこと。
- (4) 南ア各地にある長距離バスターミナルは、全般的に治安が悪い傾向があるので、利用は避ける。
- (5) 万が一、所持品などを奪われそうになった場合、犯人らが銃撃など攻撃を加える可能性があるため絶対に抵抗しない。

(ヨハネスブルグ CBD 周辺地図)



2 ATM 関連詐欺・窃盗

12月4日午前9時30分ころ、邦人が、Umhlanga Ridge 地区にある商業施設の ATM 機を利用して現金を出金しようとしたところ、見知らぬ男が近寄ってきて

「今日は日曜日で操作の仕方が違うから教えてやる」等言いながら ATM 機の操作を行い、機械からキャッシュカードが出てきたところ、これを盗み、立ち去りました。そのわずか数分後に、合計 R19,750 が不正利用されていることが判明しました。この男が暗証番号をのぞき見ていた可能性があります。

【対策】

- (1) 見知らぬ人に ATM 機まで案内される、ATM 機の操作を案内、指示された場合、詐欺や窃盗の可能性を念頭に、まずは、カードの安全を確保し、ATM の操作はせず、操作中の場合は中止する。
- (2) ATM 機、クレジットカードの決済等、暗証番号を入力する際は、手で隠すなどして見られないようにする。防犯カメラ、隠しカメラで見られている場合もあるので、付近に人がいなくとも十分に注意する。
- (3) ATM 機などに、小さな隠しカメラなど不正に情報を盗み取る機器を設置している場合があるので、よく観察してから利用する。
- (4) 旅先など不慣れな場所では、カードや所持品の取扱い保管はより慎重に行う。

3 クルーガー国立公園

クルーガー国立公園は人気の観光地ですが、10 月(前回も掲載)には、同公園 Numbi Gate 付近で外国人観光客が武装強盗未遂事件の末銃撃され、命を奪われる事件が発生しました。

その後、12 月には、同じ Numbi Gate 周辺において、2名の武装警備員が襲撃され所持していた銃器を奪われる事件が発生し、治安が懸念されます。

クルーガー国立公園付近の Hazyview およびその周辺の町において治安の悪化や抗議行動(道路封鎖等)が見られるため、同公園に向かわれる際はこの周辺を通行するゲート(Numbi、Paul Kruger、Phabini)は避け、他のゲートから入られるようお願いします。

また、クルーガー国立公園内(周辺)のプライベート・ゲーム保護区へ向かわれる際も同様にご注意ください。プライベート・ゲーム保護区内へ至るゲートは同公園のゲートとは異なり分かりにくい場合があります。宿泊先にゲート名や経路を確認し、ナビの案内のみに頼らないでください。

4 武装強盗(カージャック)

武装強盗のなかでも、カージャックの増加傾向が継続しています。2022年11月に発表された南ア犯罪統計(2022年第2四半期:7月~9月)においても、前年同期比+23.6%の増加でした。

発生件数は6149件(警察が事件登録している数であり、警察に通報されないケースも相当数あると見られます)で、1日あたり、約67件発生していることとなり、大変懸念される状況です。

発生の約半数がハウテン州に集中し、続いてクワズールー・ナタール州と西ケープ州が約15%を占めていました。

12月には、高速道路の料金所N1(Nyl toll plaza)にて、料金支払い待ちの車を標的にしたカージャックが発生しました。料金所を通過した賊がレーン内で停車して銃器を所持して降車し、支払い待ちのため停車中の後続の車(その後ろにも待機している車両があるため身動き出来ず)の乗員を銃器で脅し、カージャックを敢行する手口でした。本件の場合、eTag(日本のETCの様なもの)を利用し、停車せずに料金所を通過することが対策のひとつと言えます。飲食店のドライブスルーにおいて、賊が前に停車し、後続車に挟まれて身動きできない状況を利用して襲撃する本件と似た手口も聞かれます。万が一、被害に遭った場合は「抵抗しない」「車や金品は諦めて命と身体を守ることを最優先」する対応をしてください。

以下前回記載内容を再掲

当地セキュリティー専門家によりますと、各地カージャックのホットスポットは無数にあるものの、分類として

- 1 Drive way (一般車道から各家の車庫/敷地に通じる施設道)
- 2 信号
- 3 ショッピングセンター
- 4 ガソリンスタンド
- 5 一時停止標識
- 6 学校

の順に発生が多いとのこと。同専門家の講演等を参考に「カージャック発生多発場所と対策」をとりまとめましたので(次の頁)、安全対策としてお役立てください。

カージャック発生多発場所と対策

- ① Drive way** : 自宅、ゲストハウス等ゲートが開くのを待っている間に襲撃
→帰宅5分前からは最大に警戒（特に追尾されていないか）。
→自宅ゲートをリモコンキー等にて操作する場合、ゲート（道路）に並行に停車して開放操作（退路を確保、追尾の可能性の場合はそのまま前進）、ゲートが開放されれば直ちに敷地内に進入、後続が入れない位置で停車して直ちにゲートを閉鎖（自動閉鎖機能は利用しない）。
→生体認証によりゲートに並行に停車して操作できない場合、ゲート直近で並行に停車し、後方の様子を確認する。同様に停車する車があれば追尾の可能性。
→追尾の可能性がある場合は、自宅に帰らず一旦通過。冷静にいつも通りの運転でガソリンスタンド、商業施設等安全な場所まで一旦避難。警察等に通報し応援を求める。
- ② 信号** : 信号待ち中に襲撃（信号待ち中は、スマッシュアンドグラブ等他の犯罪も発生しやすい）
→停車中は周囲に特に警戒。スマホを触る等注意散漫にならない。
→賊は後方から突然現れる事が多いため、バックミラー、サイドミラーなどで後方を特に警戒。
→前の車と車間距離を空けて停車。
→襲撃ポイントに至るまでに、既に仲間が標的を選定している可能性大。運転中も警戒を怠らない。
- ③ ショッピングセンター** : 車からの乗降時に襲撃。駐車場入り口のゲート（駐車券発券時等）で停車した際、後続車が追突し（事故を装う）確認しに降りてきたところを襲撃
→車の乗降時は特に周辺に不審者（車）がいないか警戒する。
→乗車後はただちにドアロックを手動でかける。乗車後すぐは自動でロックがかからない。外からドアをあけ、後部座席に乗り込み襲撃する等を防止。
→駐車場入り口等で停止時に後続に追突された場合（特に軽い追突）は、降車せず、ドアをロック、窓を閉め、ミラー等で様子を確認し、本当の事故か判断。
- ④ ガソリンスタンド** : 給油待ち等に襲撃
→給油を依頼すれば、車を施錠しガソリンスタンドのコンビニへ移動して待機、給油後の支払いをコンビニのカウンターで行う事で車内待機時間を減らす。
→できるだけ子供を連れている時に給油しない（子供が巻き込まれるのを回避）。
- ⑤ 一時停止標識** : 標識で一時停止した際、前の車（犯人）と後続の車（犯人）に挟まれ身動きできない間に襲撃。一時停止した際、後続車が追突し（事故を装う）確認しに降りてきたところを襲撃
→前の車との車間距離を空けて停車。
→追突された場合（特に軽い追突）は、降車せず、ドアをロック、窓を閉め、ミラー等で様子を確認し、本当の事故か判断。
- ⑥ 学校** : 子供を迎えに行き、駐車場等で待機している際に襲撃
→車内でスマホを触る等して待機せず、車外に出て（車はロック）待機。

5 スパイク強盗

道路上に工作物(Spike)や石等を設置し、通行車両をパンク等損傷させてその修理や点検をしているところを襲撃する強盗が継続して発生しています。特にN4(プレトリア東西の高速道路)での発生が多く聞かれます。この手口の犯罪は、ほとんどが夜間～早朝の暗い時間帯に発生しています。

【対策】

- (1) 安全速度と車間距離を保持し、路上や周囲の状況に注意して運転する。ハイビームを活用する。
- (2) 夜間の走行は出来るだけ避ける(特に発生が報告された路線や街灯のない幹線道路における不要不急の夜間の走行は避ける)。
- (3) 路上に異物(突起物を黒色ビニール袋で覆うなどして見破られにくい工作が行われている場合があります)を発見した場合、その上を踏まないように走行する。
- (4) パンクした場合、
 - ・強盗の襲撃を念頭に落ち着いて行動する。
 - ・その場で停車せず安全が確保できる場所まで走行する(専門家によると、パンクしたタイヤが脱落しても速度を落として走行すれば約 50 km 走行可能とのこと)。強盗が車で追尾している可能性もあるため、離れた場所であっても安全が確保されなければ停車しない。
 - ・高速で走行するとホイールが完全に破損して早期に自走不能になる可能性があるため、減速して走行する。
 - ・警察や契約警備会社に通報し、支援を求める。
- (5) 万が一襲撃された場合、抵抗しない(強盗が銃器を所持している可能性あり)。

犯罪以外でも

- ・豪雨による道路の浸水、陥没、通行止め。
- ・大型トラック事故の多発。ヨハネスブルグ近郊 Boksburg におけるガスタンカーの爆発事故など死傷者が発生する事故多発。
- ・ロードシェディング(計画停電)等様々な名目による、全国各地における大小抗議行動の発生とそれに伴う道路封鎖、通行車両に対する投石等。

等交通に影響を及ぼす出来事が散見されます。お出かけ前は、交通情報等最新の情報を確認し、安全対策をお願いします。

車の事前点検(ガソリン、空気圧等)もお忘れなく。

6 自動車盗

11月12日(土)朝、邦人がプレトリア市内で開催されたイベントに参加するため、会場駐車場(駐車監視係あり)に車を駐車し、約1時間20分後に戻ってきたところ盗まれて無くなっていました。車を探している人が他にも目撃されたため、複数の被害があったものと推察されます。

【対策】

- (1) 駐車場所を十分選択する。
 - ・路上駐車中の被害が一番多いため、警備員が配置された駐車場、出入庫管理が行われている駐車場などを選定する。
 - ・イベント等の駐車場所においては、安全対策が困難である場合が多いが、その場においても、より警備員(監視員)が多い場所、人目が多い場所等、できるだけ犯罪者からみて犯行しにくい場所を選定する。
- (2) 車から僅かの間しか離れない場合でも油断せず安全対策を講じる。
 - ・犯行時間は数分と言われており、短時間の所用であっても上記の駐車場を選択する、確実な施錠を行うなどの安全対策を講じる。
- (3) 標的になりやすい車種の場合、ディーラー等に相談し追加の防犯対策を講じる(メーカー等が新たに対策を開発している場合がある)。
- (4) 貴重品を座席に残したり、積載しない。